

40年以上も経過し、老朽化も進んでいる。屋根、壁、床等のいたみもはげしく、補修を重ねている現状である。また学校の近代化が進み、教材・教員が充実し、校舎が手狭になってきている。町内でも唯一の木造校舎である。板井小学校の新築について配慮するよう請願。 ※採択

■平成3年産米の政府買入価格および自主流通対策費をはじめとした自主流通助成の現行確保ならびにわが国農業・農村の将来展望と米穀政策の確立に関する請願書(請願3) 提出者 黒崎町農協組合長理事 本間春市ほか1名

米の国内自給を基本としたわが国農業の将来方向を明確にし、本県の稲作経営の安定と、活力ある農村社会を実現するため、題名のとおり請願し、政府等にも意見書を提出していただきたい。

※採択。意見書(第3号)が総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣、食糧庁長官、一区選出衆議院議員、県選出参議院議員に提出された。

■米の市場開放阻止に関する請願書(請願4)

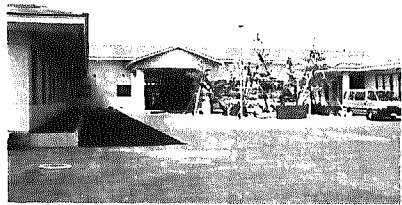
提出者 黒崎町農協組合長理事 本間春市ほか1名

れたが、市としての具体的計画は白紙とのこと。ただし病院を中心として特養施設を作

老人福祉センターの脱衣場の改良は対応は検討中。しばらくしんぼうを

B議員 福祉行政について
①老人福祉センターの利用状況と脱衣場の改良をする考え
②在宅福祉について、一人暮らし世帯などの数を把握しているか

町長 ①4月オープン以来5月末で8141人の入館者が



老人福祉センター 黒崎荘

生ゴミ処理器の普及とその成果は

わすかだが成果うかがえるようだ
B議員 環境問題について
①生ゴミ処理器の普及とその成果について
②資源ゴミのリサイクルについて
③緑化事業について
④農村公園整備について

町長 ①可燃ゴミの年間排出総量は平成元年度が5954

開放庄力の中的大幅な米の生産調整に取り組みながら、米・水田農業の将来展望を切り拓くための努力を続けているので、良質米生産県たる本県農業と地域経済社会の発展のため、事の事項が実現するよう請願

①米は国内で完全に自給する政策を堅持すること。
②3度にわたる国会決議を遵守し、米の市場開放は断じて行わないとする姿勢を堅持すること。

※採択。意見書(第4号)が総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣、食糧庁長官、一区選出衆議院議員、県選出参議院議員に提出された。

■農業再建につながる生産者米価の実現を求める請願書(請願5)

提出者 農民運動新潟県連合会 代表 町田拓

生産者米価は、国民が必要とするコメを生産する農民に人並の労賃を保障するものでなければならぬが、米作農家は時給わずか543円で労働者の15年前の水準であり、農業の後継者ができない。将来の日本農業を背負う後継者が展望もてる生産者米価の実現が消費者・国民全体にとって重要な課題なので次の事項を決議し、意見書を政府等

へ周知するよう請願
○生産者米価は生産費をつぐない、労働者なみの労賃を保障する引き上げをおこなうこと。
※不採択

■コメ輸入自由化反対に関する請願書(請願6)

提出者 農民運動新潟県連合会 代表 町田拓
コメ輸入自由化をめぐる「外庄」に呼応した急激な展開と状況のもとで、議会が農業と地域、食糧と健康を守る立場から、次の事項を議決され、政府等に意見書を提出するよう請願

○政府の国民に対する公約と国会決議を守り、コメ輸入自由化反対の態度を貫くこと。

一般質問 (要旨)

町道仲町新田町線の整備はどうする 全体整備は次年度以降に計画立てて

A議員 道路整備について
①町道仲町新田町線の整備は
②町道鳥原新地川原線の整備は
③中之口川河川敷整備にともなう大野市内の各小路の整備をどう進めようとするか
町長 ①当面、道路補修費で

■非核自治体宣言の決議を求める陳情書(陳情第3号)
提出者 原水爆禁止新潟県協 議会筆頭代表幹事 加村崇雄
核兵器全面禁止の課題を実現していくうえでの有効な措置である非核宣言をおこなった自治体は、年々増えつつあり、いまや総人口の68%が居住する1538自治体に達し、新潟県内でも22の自治体で宣言・決議がおこなわれている。左記事項について陳情

①核兵器廃絶、非核三原則の厳守などをもちこみ、非核の意志が明確になるもの。②黒崎町を非核地帯とし、核兵器の持ち込み・通過を許さず、核攻撃の対象となる施設の設定を認めないことを宣言したものであること。 ※不採択

対応しているのが現状。6月議会でも補正予算を計上し、議決後、交差点付近を補修する考え。全体の整備は次年度以降、年次計画をたてて整備したい。②現況平面図ができた。6月7日に説明会、設計協議が終わったら測量に入る。

助成事業を受け金巻の池周辺に41本、多目的広場に13本ソメイヨシノを植栽。また立仏小学校で県の緑化推進事業の補助を受けエゴノキ5本、ソメイヨシノ21本などを植えた。今後も地域住民のご協力を得られるところから公共施設を中心に推進したい。④土地収容事業の認定を受けるべく事務を進めているところ。町の所有地と地権者と合意のあった土地をあわせて2153平方メートルあり、この部分をできるだけ早く整地したい。残り200平方メートルは買収などの話し合いがすすんだ時点で整地を行いたい。



生ゴミ処理場

農村公園実施まで管理はどうする 早く整地し、地元へ管理をお願い

C議員 農村公園について
①農村公園実施計画による現在の状況について
②実施までの間、管理をどのようにやるのか
町長 ①計画面積2300平方メートルに対し、町所有142平方メートル、個人が3人で1185平方メートル、その他国有地などで実面積は2353平方メートル。②町所有地は草刈りを年一回。1730平方メートルをできるだけ早く整地し、管理は地元自治会にお願いする所存。



農村公園予定地

③現在、建設省と協議を進めているが結論はまだ。どうなったか、大野露店市場の移転下へおろす方向でまとまりつつある

A議員 大野露店市場の移転について、昭和56年6月議会での請願を全会一致で採択したがその後どうなったのか。町長 今年3月4日の懇談会、6月4日の露店市場管理運営委員会を通じて、おおむね下へおろす方向でまとまりつつある。大野町活性化のため、実現に向け努力しているところ。なお、給食センター跡地を駐車場にしたい。

月刊「財界にいがた」の評価はどうか 判断・評価は読者が自由意思ですべき

A議員 月刊誌「財界にいがた」について
①6月号36ページ、38ページと52ページ、55ページの記事は本当か
②月刊誌「財界にいがた」の評価について
町長 信憑性、評価についてコメントする考えはない。憲法には言論の自由が保障されている。判断・評価は読者の自由意思にもとづいて行うものであると思う。



大野の露天市

町は特別養護老人ホームを作るのか 済生会病院と協議。将来は広域的に

A議員 特別養護老人ホームの建設について
①黒崎町は特別養護老人ホームを建設するのにか
②黒崎町周辺の動向はどうか
町長 ①県内・郡内の状況は3月定例会で説明したとおり。施設不足は否めない。希望者が即入所できるだけのベッド数がないのが実態。済生会病院が開院するので、病院側と協議していきたい。将来は周辺市町村と広域的な立場で建設を考えなくてはならないと思う。②西川町、味方村、月潟村、亀田町は具体的な方策は考えていないとのこと。白根市では請願が採択さ

特産館の開店後の経営見通しは 開店後5年は収益が見込めない

C議員 黒崎町特産館について
①新株発行について町の対応は
②開店後の経営状態の見通しは
町長 ①増資以前も町は50%を超える出資をしている。会社としてできるだけ民間からの見直しは
第二中学校についてどう考える
北部地区の開発みながら検討を

D議員 中学校問題について
①校則について
②第二中学校について
町長 ①生徒手帳の中に生徒の心得として7項目、校内生活については校内自治規定として36項目の服装・髪型などのきまりがある。中には良い識ある行動をとらない生徒もいることから細かい規定にならざるを得ない面も。しかし2年前から、細かすぎる面も

道路脇の側溝の管理はどうされている 地域の方から管理していただいている

D議員 道路管理について
①道路脇側溝はどのように管理されているか
②交差点脇の障害物を交通安全の立場からどんな管理をしているか
町長 ①地域の方から管理していただいている。今後も今まで同様お願いする考え。平成2年度末に側溝の蓋あげ機